編集後記

この度はこのハンドブックを作成するにあたり協力いただきました各市町村、各関係機関、寄稿文をいただきました有識者のみなさまに、お礼を申し上げます。

令和５年度沖縄県自立支援協議会住まい部会の地域移行・定着ワーキングにおいて検討されハンドブックを作成することが決まりました。沖縄県における医療と福祉の連携体制整備事業(以下「コーディネーター事業」と記す)で配置しているコーディネーターを中心に、令和６年４月にハンドブック作成委員会が結成され、月１回の会議で編集作業を進めてまいりました。

各市町村のご協力により報告された地域移行・地域定着支援に関する実践事例には、協議会を最大限に活用した「当事者の想いを大事にする支援」「支援者同士の補いあい」「連携の工夫」等、たくさんのヒントが詰め込まれていました。どれも単独の支援者だけでなせるものではなく、様々な立場の支援者が「知恵と汗を流した実践」の結果であったと思います。これは、いま思い悩んでいる支援者にとって、次に進むヒントとなりえると信じております。そのため、できるだけ多くの方に共有していきたいという思いもあり、ハンドブック作成委員会として協議を重ねてまいりました。

ハンドブックを通して当事者やご家族等の「夢や希望」「地域移行・地域定着」を応援したいと思っております。そのためにも、このハンドブックが多くの支援者の目にふれ、より「協議の場」が活性化されること、そこでは新たなチームや体制が整備されることを切に願っております。

今後も市町村の実践事例報告は継続していきます。個別事例を通した「新しい支援の形」が協議会の場で成長・醸成し、また皆さんの目にふれる機会もあると思いますので、さらに貢献できるよう委員会として準備をしていきたいと思います。

［ハンドブック作成委員会］

委員長	山城涼子(沖縄県精神保健福祉士協会副会長)
委員	新垣優一郎(北部圏域コーディネーター)
	兼島美幸(中部圏域コーディネーター)
	吉元めぐみ(南部圏域コーディネーター)
	安村 勤 (北部圏域アドバイザー)
	仲田直幸(沖縄県精神保健福祉士協会副会長)
	伊藝貴志子 (沖縄県精神保健福祉士協会事務局長)
オブザーバー	田場博之 (株式会社Ｎ・フィールド)

発行元：沖縄県生活福祉部障害福祉課
沖縄県自立支援協議会
住まい・地域支援部会 地域移行・定着ワーキング